

東京大学 大学院医学系研究科 脳神経医学専攻

精神医学分野 (分子精神医学講座・ユースメンタルヘルス講座)

個別説明・見学会

【日 時】 2013年6月1日(土) 12:30～14:00

【場 所】 東大病院南研究棟 1F・精神神経科医局

医学系だけでなく、理工学・農学・心理学・教育学系などの
バックグラウンドをお持ちの方のご参加を歓迎いたします

● 精神医学分野 (<http://npsy.umin.jp/>)

統合失調症や気分障害、発達障害などの精神疾患は、日本国民の5人に1人はその一生中に罹患し、8割近くは20歳台までに発症するとの報告があり、人生の相当部分で障害が強いられることを特徴とします。病気障害に苦しんでいる方が十分なケアを受けられるよう医療制度の充実化を図るだけでなく、発症予防や早期発見・早期治療の実現に向けた研究レベルでの取り組みが極めて重要です。当教室では、統合失調症と発達障害を主要な克服対象とし、神経画像・遺伝子・動物実験を組み合わせた生物学的なアプローチに、東大病院のフィールドを生かした心理社会的アプローチを加えた統合的な研究を、長期的な視野の下で展開しています。

【研究テーマ】 複数の神経画像モダリティ (MRI・脳波など) を組み合わせたデータ解析

脳画像や臨床情報をベースとした機械学習による疾患判別アルゴリズムの開発

● 分子精神医学講座 (<http://www.molpsy.com/>)

精神疾患患者由来試料、モデル動物に対し分子生物学的、神経科学的、行動学的観点等から多面的な解析を行っています。東大病院精神神経科との連携のもとで収集された末梢血由来試料や、国内外の精神疾患患者死後脳バンクから供与された脳試料などを用い、患者由来試料を出発点にした研究に力点をしています。

【研究テーマ】 脳ゲノム解析による精神疾患の病因・病態探索

末梢試料を用いたオミックス解析によるバイオマーカー開発

● ユースメンタルヘルス講座 (<http://plaza.umin.ac.jp/~youth-mh/>)

ユース期 (10代～20代の思春期・青年期) とは、生物の中で人間だけが持つ「自分が自分であるという意識＝自我機能」が生まれ、人間の一生の中で非常に大切な時期です。何らかの原因で自我の成長が上手くいかず、自我機能が破たんして起こる精神疾患の発症が非常に多い時期でもあります。精神的な健康を生涯にわたって保つためにも重要な時期です。しかし、ユース期は、子どもと大人のはざまの時期に当たるため、これまでの特別に焦点を当てた研究や実践が行なわれてきませんでした。当講座ではユース期のメンタルヘルスについて、これまでの生物学的精神医学と社会精神医学を融合させ、新たな社会精神医学を構築し、実践と人材育成を通じて成果を社会に還元していきます。

【研究テーマ】 思春期のコホート研究／思春期の子供の脳画像解析／統合失調症の心理社会的研究など

個別説明・見学会 会場案内

